

# 剣岳にチャレンジ

- ③ よい心と体をつくろう。
- ④ ルールを守り、仲間を思いやろう。
- ⑤ もんを出し合い、よく考えよう。

## ☆ 親と子の文化祭 ☆

～笑顔輝き今までで一番の思い出に～

校長 廣島 晃

10月23日(土)、2年ぶりに開催した「親と子の文化祭」では、多くの保護者の皆様に、ステージ発表、各場所での作品をご鑑賞いただき、ありがとうございました。

子供たちは2学期に入ってから、『伝えよう！中央っ子314人の気持ち』を全力で～笑顔輝き今までで一番の思い出に～のローガンのもと、「自分の役割を果たし、一人一人の笑顔が輝く文化祭」を目指して、一生懸命に発表の練習や作品製作に取り組んできました。

ステージ発表では、1年生の劇「かみいちちゅうおうしょうがっこうにくじらぐもがやってきた」から6年生の合奏「“奇跡”の出会いにありがとう」まで、どの学年も日頃の学習の成果を「伝えよう！」という気持ちが伝わったのではないかと思います。発表後の子供たちの表情は「がんばったぞ」という満足感に溢れていました。この経験が、今後、いろいろなことに挑戦していく原動力になることを確信しております。

作品展示では、自分が感じたことを表現しようと、時間をかけ、心を込めて取り組んだ成果が、それぞれの個性あふれる作品となって表れ、校舎全体に文化の香りが漂っていました。

保護者の皆様には、衣装の準備や家での台詞の練習等を応援し、見守っていただいたこと、PTA 役員の皆様には、準備・運営にご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。

さて、今回の「親と子の文化祭」を通して、学校行事の一つ一つが子供たちの成長のために大きな意味があり、毎年、積み重ねていくことが大切であることを実感しました。新型コロナウイルス感染症は、今後も流行の再拡大などが懸念される場所ですが、学校行事は感染対策をとりながら実施していきたいと考えています。保護者の皆様には、ご理解をお願いいたします。